

福山駅前広場協議会分科会（広場活用連携）

説明資料

2026年（令和8年）1月13日

福山市 企画財政局 福山駅周辺再生推進部 福山駅周辺再生推進課

福山駅前広場協議会分科会（広場活用連携）の開催

○現在の状況

- 昨年12月に開催した福山駅前広場協議会において、たたき台となる2つの計画案を示した。今後、さらにたたき台を練り上げていきながら、駅前広場整備基本計画案を作成していく。

○開催の目的

- 2つの案を練り上げていく上で、**広場空間の活用・連携という観点で**駅前広場について、活用可能性の高い周辺事業者の意見を聞き、駅前広場協議会での議論に生かしていく。

○議論の視点

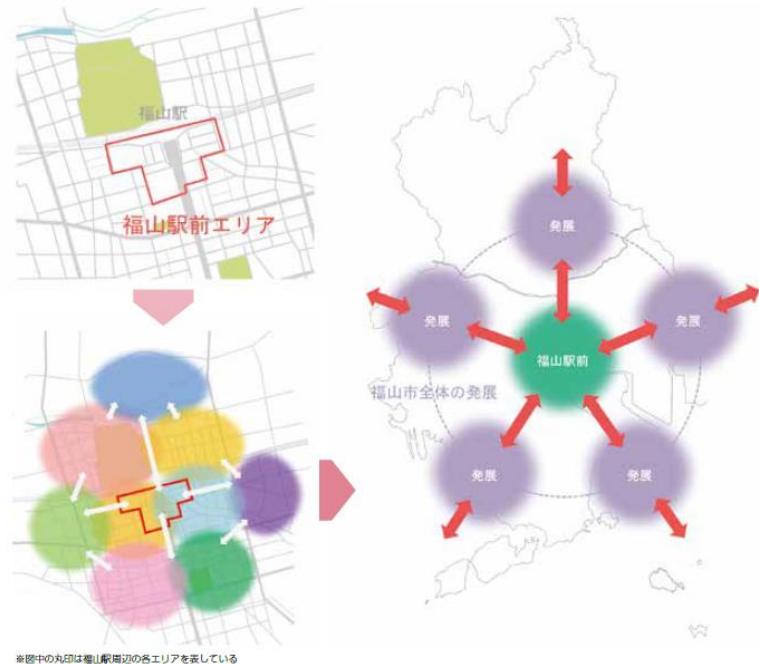
- 次の視点で、議論を行っていただきたい。

1. 広場と駅周辺を一体的にとらえ、どのように駅周辺全体を魅力的にしていくか
2. 各エリアをつなぐ「ハブ」となる広場空間を介して周辺との回遊性をどのように生み出していくか
3. 上記を実現するために、駅前広場をどのように活用していくか
(日常時・非日常時とも)

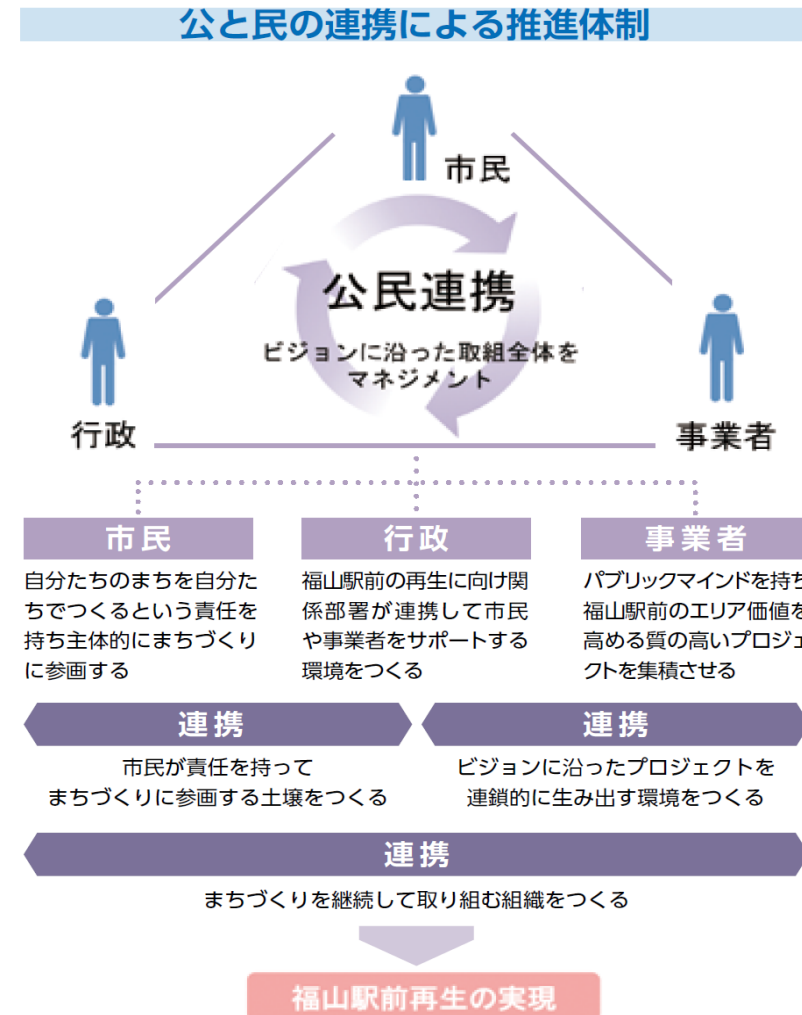
福山駅前再生ビジョン

●福山駅前再生ビジョンの策定（2018年3月）

福山市の「顔」として、また備後圏域の玄関口として、市民、事業者、行政がめざす福山駅前の姿を共有し、連携して再生に取り組んでいくための方向性を示したものの。



福山駅前再生ビジョンより



福山駅前再生ビジョン

●福山駅周辺の公共空間の再整備イメージ



図表12 公共空間の再整備イメージ(福山駅周辺)

福山駅前再生ビジョンより

●伏見町・三之丸町地区の公共空間の再整備イメージ

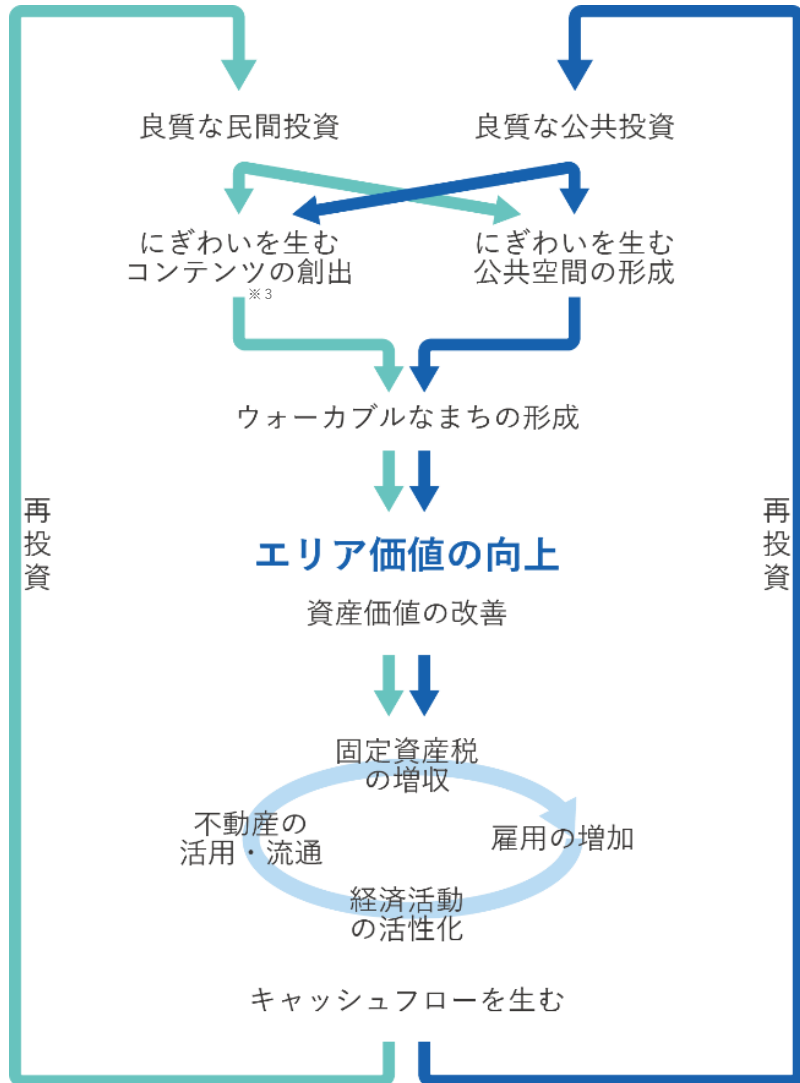


図表13 公共空間の再整備イメージ(伏見町・三之丸町地区)

福山駅前再生ビジョンより

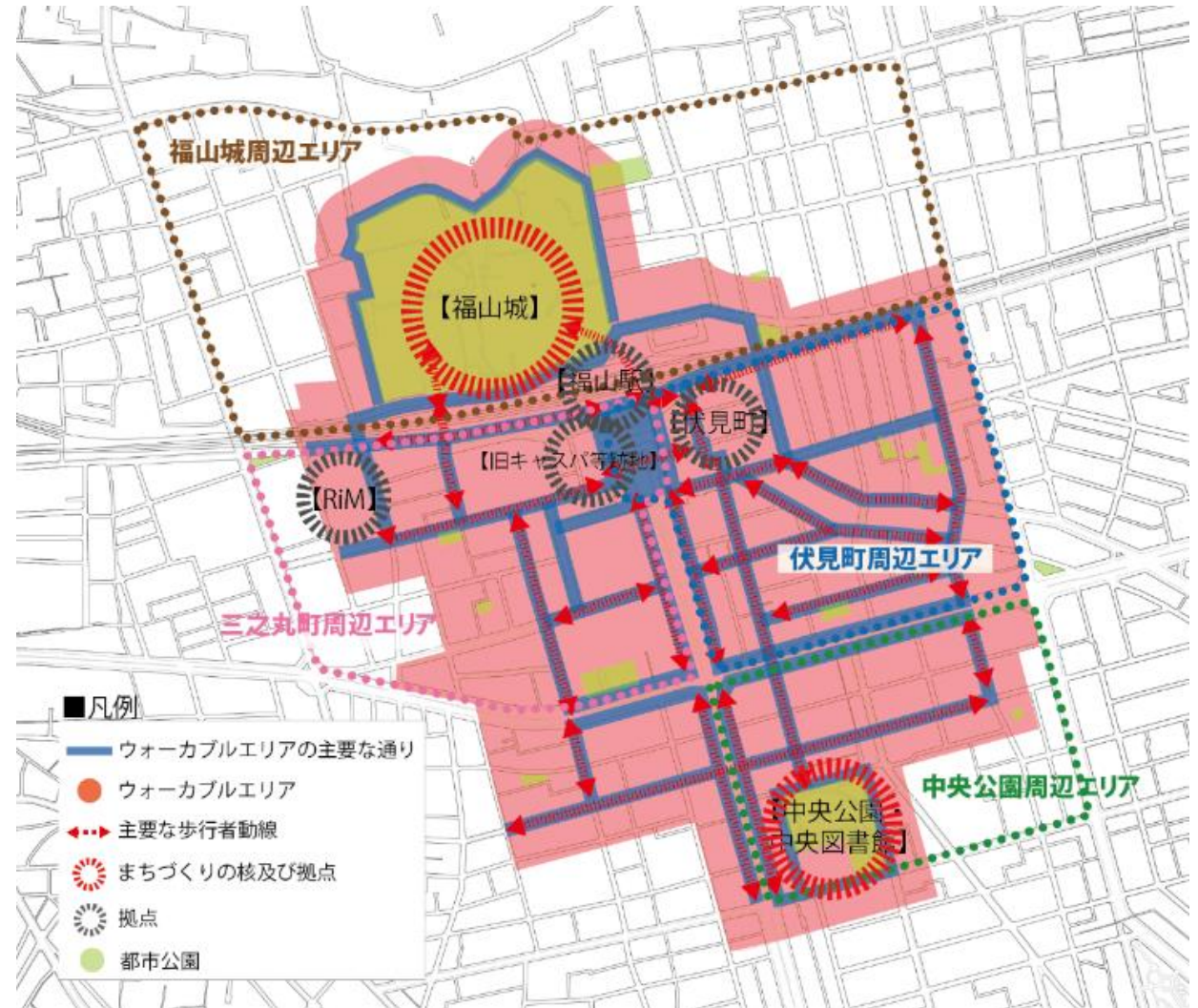
福山駅周辺デザイン計画

●エリア価値を高める経済循環



福山駅周辺デザイン計画より

●拠点とウォーカブルエリアの設定

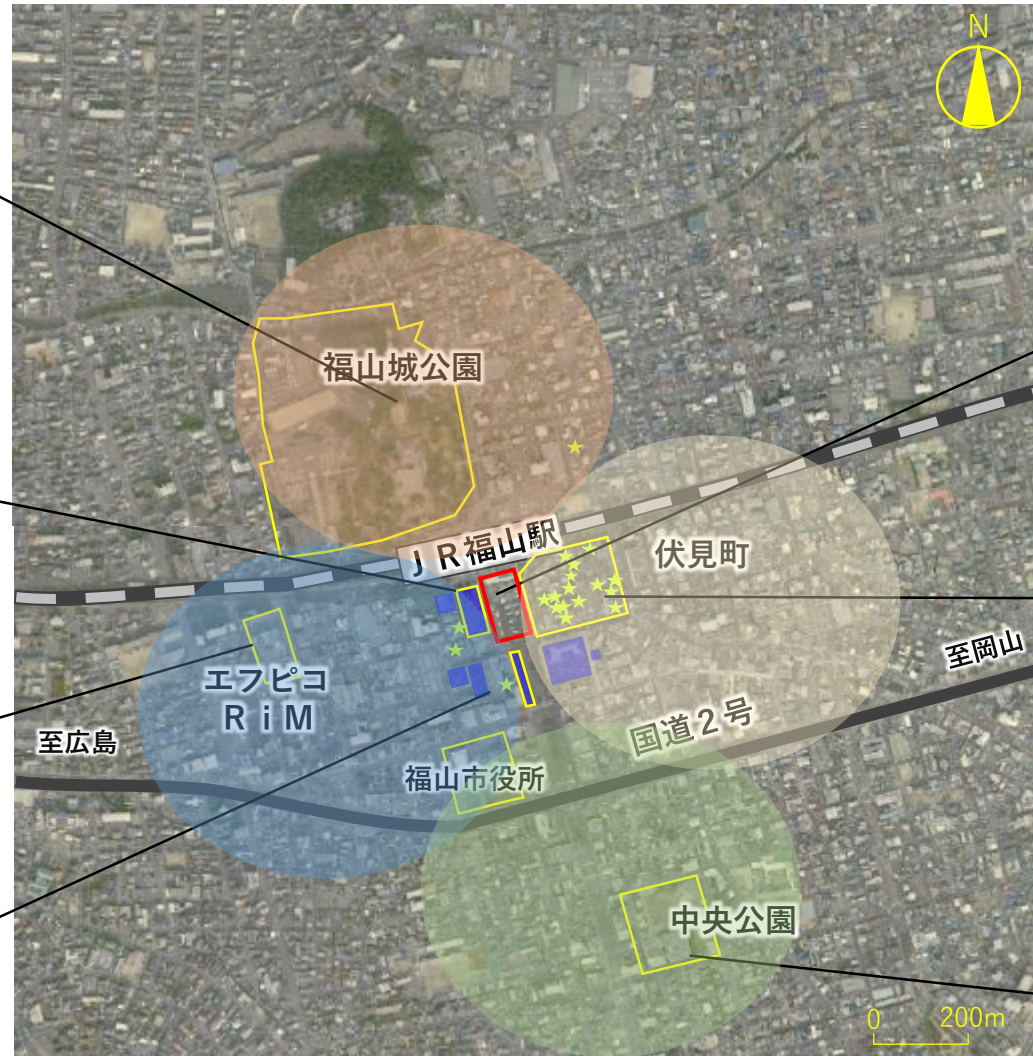


福山駅周辺デザイン計画より

福山駅周辺の官民での取組



福山城の
リニューアル



駅前広場再整備



リノベーション
まちづくり



中央公園Park-PFI



NEWCASPA



iti SETOUCHI



アイネスフクヤマ
前のウッドデッキ
(道路空間の活用)

★ リノベーション手法等による主な新規出店 ■ 民間事業者による開発等

福山駅前に広場が必要な理由

駅前広場のポテンシャルを発揮させるため

年間約1,300万人が行き交う

福山駅の駅前広場が

単に通り過ぎる場となっている

福山駅の乗降客数

= 約1,300万人/年 \div 約3.5万人/日

\div マツダスタジアム (3.3万人) ※マツダスタジアムの収容人数

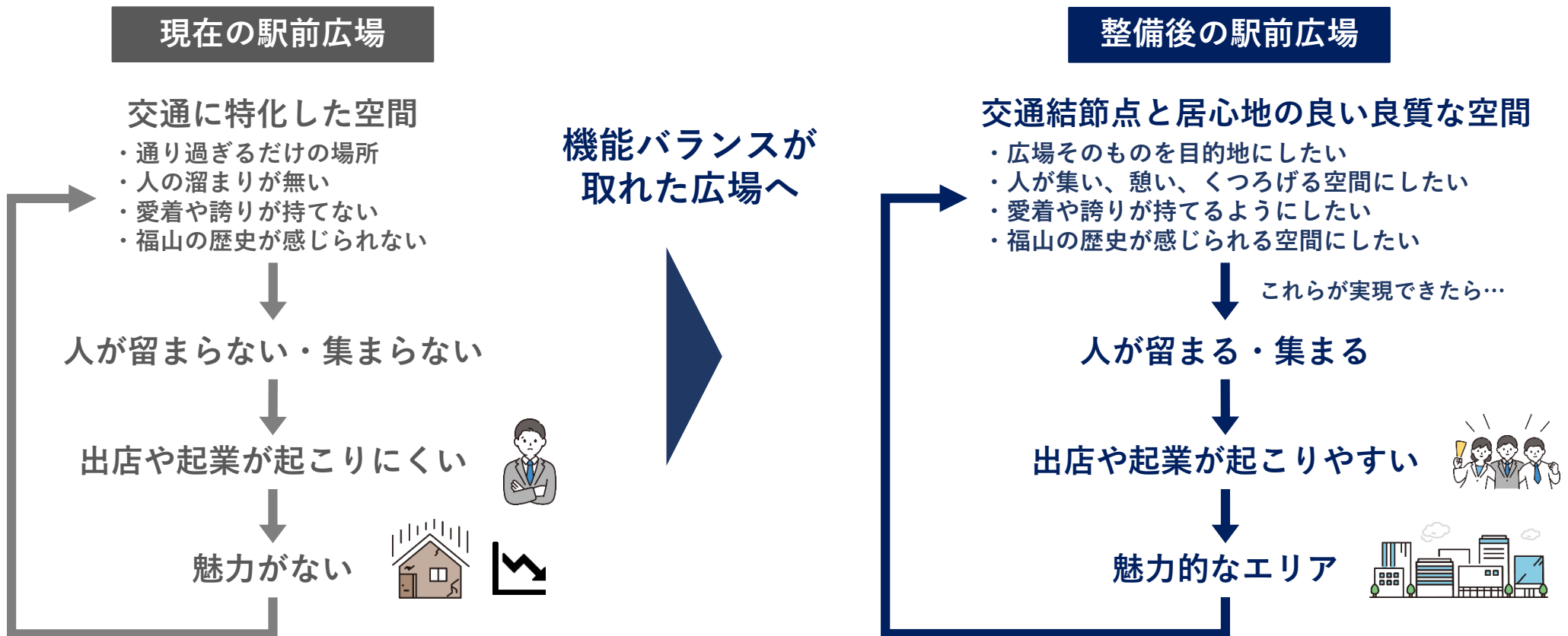
東京ディズニーシー (約3.4万人/日) ※東京ディズニーシーの年間の来園客数より試算
(2023年)



現在の福山駅前広場

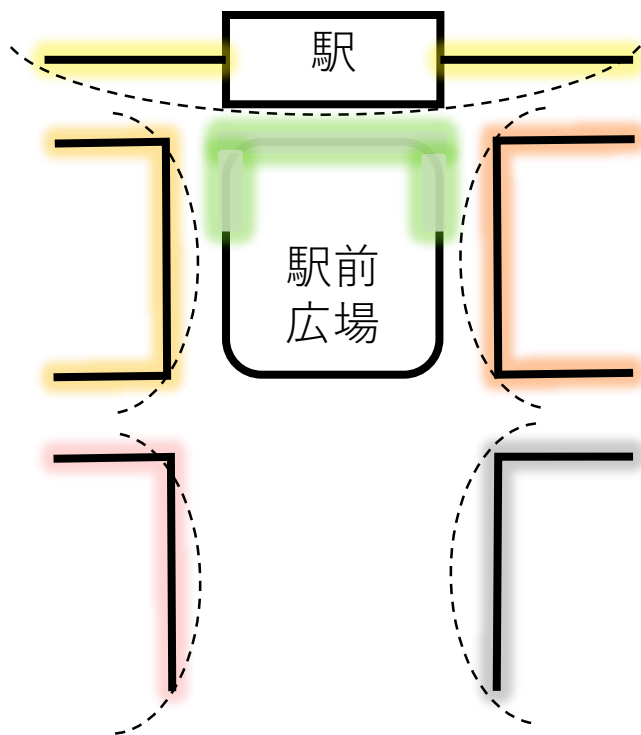
福山駅前に広場が必要な理由

駅前広場を交通結節機能を確保しつつ、
『人々が集まり・出会い・交流が生まれる場』に変えることで、
都市の顔である駅前が魅力的なエリアになっていく

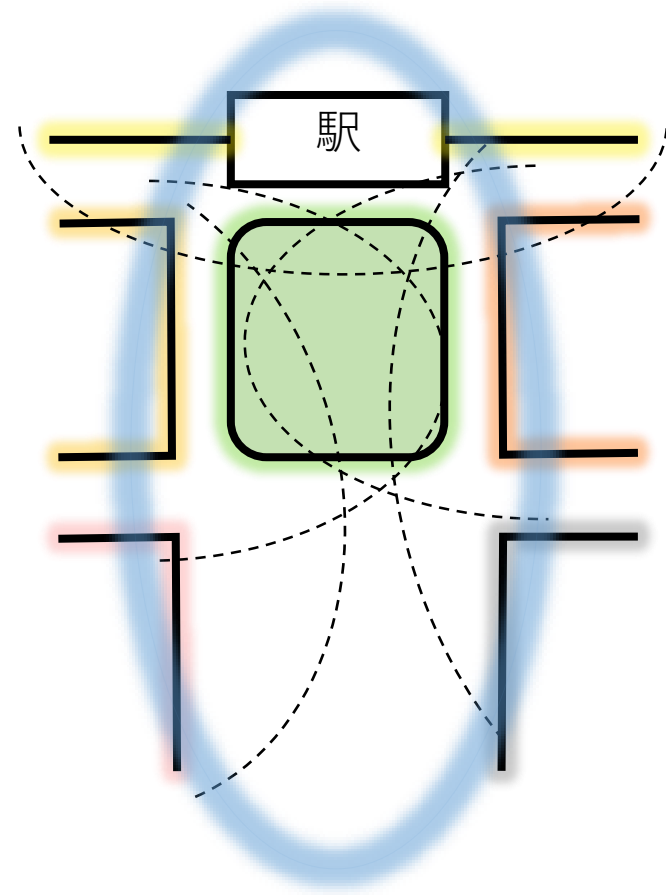


福山駅前に広場が必要な理由

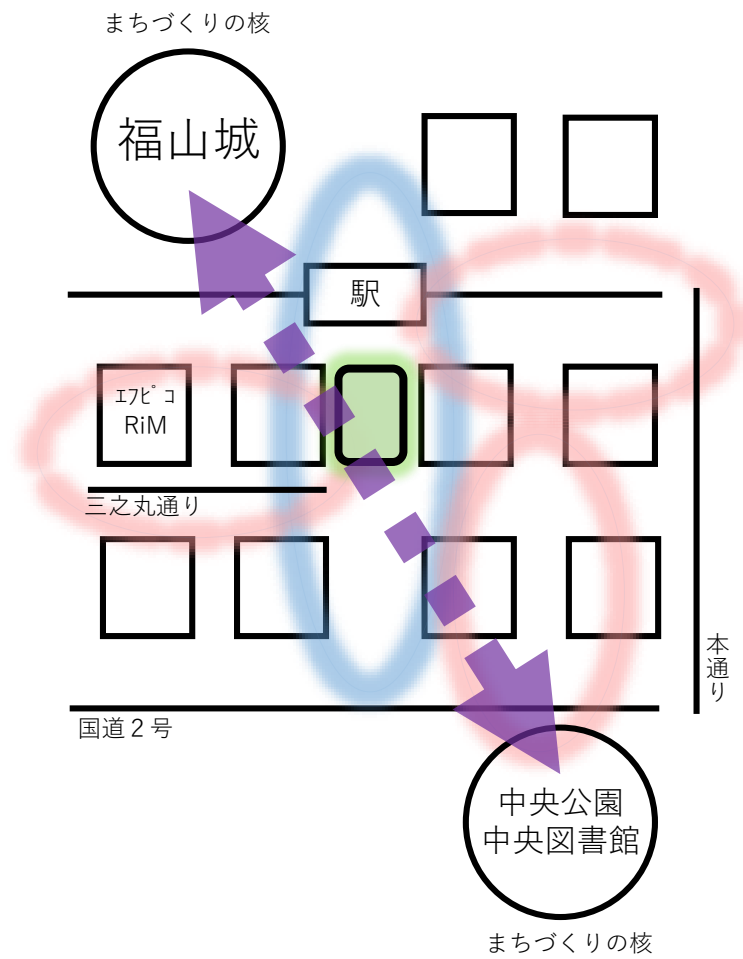
広場の効果が限定的で
それぞれの店舗の効果に
つながりが生み出せてい
ない



広場の効果が周辺の店舗の効
果をつなぎ、にぎわいの効果
が相乗的に拡大する



他のエリアにも効果が波及して、
駅周辺に民間投資が起こっていく



これまでの検討経過

2022年、2024年に福山駅前広場再編実証実験



○2024年9月～10月における広場空間の利用者数

約500㎡の空間で平日でも1日約400人の利用がありました



○アンケート調査（広場利用者250人）

「福山駅前広場に、このような空間があったら良いと思いますか」



「非常に思う」・「思う」と回答した人が

93%

多様な世代が思い思いに過ごす様子が見られました

これまでの検討経過

○ふくまちヒロバラボ (2025年10月~12月 計4回)

これからの福山の担い手となる次世代の参加者と今後の駅前広場のあり方について議論を行いました。



(主な意見)

- 将来の駅前広場での過ごし方では、買い物や飲食を楽しむ、イベントをする、勉強や仕事ができる、こども・家族が集まるなど、多様な過ごし方について意見が出された。
- 交通の配置については、駅前広場の南側にバス乗降場を配置するアイデアや伏見町の北側にバス乗降場を整備するアイデアなど、様々な意見が出された。
- 広場機能の配置では、日常と非日常が両方使える空間の配置や、東西南北へ迂回せずに行き来ができた方がよいなどの意見が出された。

ヒロバラボ 第1回ワーク：実現したい使い方「未来の駅前でどう過ごしたい？」

イベント・文化体験

- ・ ストリートミュージシャンのライブや音楽コンサート。
- ・ パブリックビューイングでスポーツ観戦。

散歩・運動

- ・ 体を動かしたりトレーニングしたりできる。
- ・ 高齢者のフレイル予防教室。
- ・ 駅南北をつなぐ散歩コース。

買い物

- ・ 出張中、隙間時間ができたビジネスパーソンがショッピングできる。
- ・ 待ち時間や移動時間が潤うような、本、飲み物、お菓子などが買える。

交流

- ・ ここに行くと誰かに出会える。
- ・ 色々な世代がいて、それぞれ好きなことをしている「まちのリビング」。
- ・ ランチセッション。

くつろぎ・滞在

- ・ 芝生に座って待ち合わせや飲食をする。
- ・ 高校生になった息子が友だちと一緒にしゃべりする。
- ・ 買い物の途中に、大人はほっと一息、こどもは楽しめる。

こども・家族の遊び

- ・ こどもが走り回っても安全な空間。
- ・ 噴水や親水コーナーでこどもを遊ばせられる空間。

勉強・仕事

- ・ 上空を使って、図書館カフェや勉強スペースをつくる。

出店

- ・ 将来、出店や起業したい人に向けたテナポップアップストア・体験ブース。
- ・ 周辺地域のポップアップストア・体験ブース。

観光

- ・ 福山城～鞆の浦までを「まちごと美術館」にする。
- ・ 周辺観光地への出発点。

災害時の利用

- ・ 来訪者や居住者が、災害時に避難スペースや防災公園として活用できる。

誰もが使いやすい

- ・ 歩くのが難しい人、小さなこども、目の見えにくい人、耳の聞こえづらい人、日陰が必要な人など、だれでも訪れやすい空間。

福山らしさを感じる

- ・ 駅南口に降り立った時、素敵なランドスケープが広がっている。
- ・ 植栽や素材などで福山らしさを感じられる風景になっている。

第1回ワーク：実現したい使い方「未来の駅前でどう過ごしたい？」

緑を感じる

- ・ 広い空間で緑を感じられる気持ちのよいビアガーデン。
- ・ 仕事前、帰宅前、仕事の合間などに、緑を感じながらコーヒーを飲む。

歴史・文化を学ぶ

- ・ こどもも大人も福山のことについて学べる社会見学の場。
- ・ 福山城が見えづらい駅南口でも、バスや電車の待ち時間に歴史に触れられる。

安心・安全に使える

- ・ 道幅が広く、自転車と歩行者が分離されていて、誰もが安心・安全に移動ができる。
- ・ 待っている時間も有意義に過ごせる、駅前での「絶対的な待ち合わせ場所」。

情報が取得できる

- ・ 駅前エリアやまちの情報、イベント情報などが取得できる。
- ・ 福山の産業に触れられる情報やアイテムが取得できる。

回遊

- ・ 広場周辺に買い物ができる店が増えて、広場でちょっと休憩＝駅前全体を大きなショッピングモールに見立てる。

オールシーズン（全天候型）

- ・ 気候や季節を問わず、一年中使える広場。
- ・ 暑いときに涼が取れて、寒いときに暖まることができる。



第2回ワーク：「まちをつなぐ広場を考える」

●東西南北の移動

- ・東西の行き来をスムーズにしたい。
- ・自由に行き来できるようにしたい。
- ・雨に濡れないで移動できるようにしたい。
- ・歩行者・自転車を分離して、安全に通れるようにしたい。
- ・南北のつながりを良くしたい。

●安全面

- ・安全面の確保。
- ・こどもが走り回れるレベルの安全な環境。

●使い勝手

- ・駅舎の1F通路も工夫して、南北を一体的に考えたい（移動面・空間面とも）。
- ・可変的な使い方（可動椅子、ステージ、ベンチ、イベント広場など）。

●滞在性

- ・雨よけ、暑さ対策として大屋根や日陰のある滞在空間があるとよい。
- ・のんびり過ごすエリアとイベントなどのオープンエリアがあるとよい。
- ・癒しの木陰や水辺など。

●福山らしさ

- ・南側からも福山城を見えるようにしたい。城を感じたい。
- ・遺構を表現する。水辺や石垣などを配置する。

●周辺とのつながり

- ・広場と周辺の店のつながり。広場へののにじみだし。
- ・周辺店舗と広場との回遊をつくる。
- ・ハブとしての広場。
- ・駅を出てすぐに視界が開けるとよい。

●情報発信

- ・周辺の各ゾーンへのアクセス案内。
- ・観光客にむけたウェルカム感のあるインフォメーション。

●運営面

- ・掃除などの運営管理をコミュニケーションの場にする。
- ・夜の治安を維持する。
- ・近隣居住者への騒音・イベント時等の配慮。
- ・ゴミなどのマナーを徹底する。

第4回ワーク：「これから広場でやってみたいことを考えよう」

●どんな取り組みをやっていきたいか（計11グループでのアイデア）※広場だけでなく、福山駅前でやりたいアイデアも含む

- アンテナショップ
- まち巡りマップ
- 飛び込み参加OKのパブリックビューイング：紅白、サッカー、野球、映画など
- 学生世代が集まれるイベント（地元企業の紹介、学校や専門学校の紹介）
- 広場のまわりへ広げていくため、ミチ・アキチで実験をする
- 職人さんのワークショップの定期開催
- イベント的に防災訓練をする
- ギネスチャレンジを広場でする
- 駅前広場の実証実験をもう一度する
- 駅前おにごっこ
- 愛犬家の日
- プチキャンプ
- 石積み、芝張り体験
- 駅前広場の工事中的の見学会
- こども、子育てについて話ができる場所をつくる
- おもしろ子育て発表会⇒母親の主張
- 母の何気ない気持ちを聞く場所をつくる
- 音楽やアートなど、テーマを絞った活躍の場をつくる
- 広い空間で贅沢ヨガ
- 腕相撲大会
- ラジオ体操
- モルックの大会
- 多文化、多言語交流⇒多文化フェス
- 駅前で循環する「みんなで作って、集まる農園」（育てる→収穫する→食べる→捨てる、という循環）

これまでの検討経過

○第12回福山駅前広場協議会（2025年12月1日）

交通事業者や経済界、商店街ほか約20の団体・関係事業者との意見交換やヒロバラボでの意見を踏まえ、2つのたたき台を示しました。



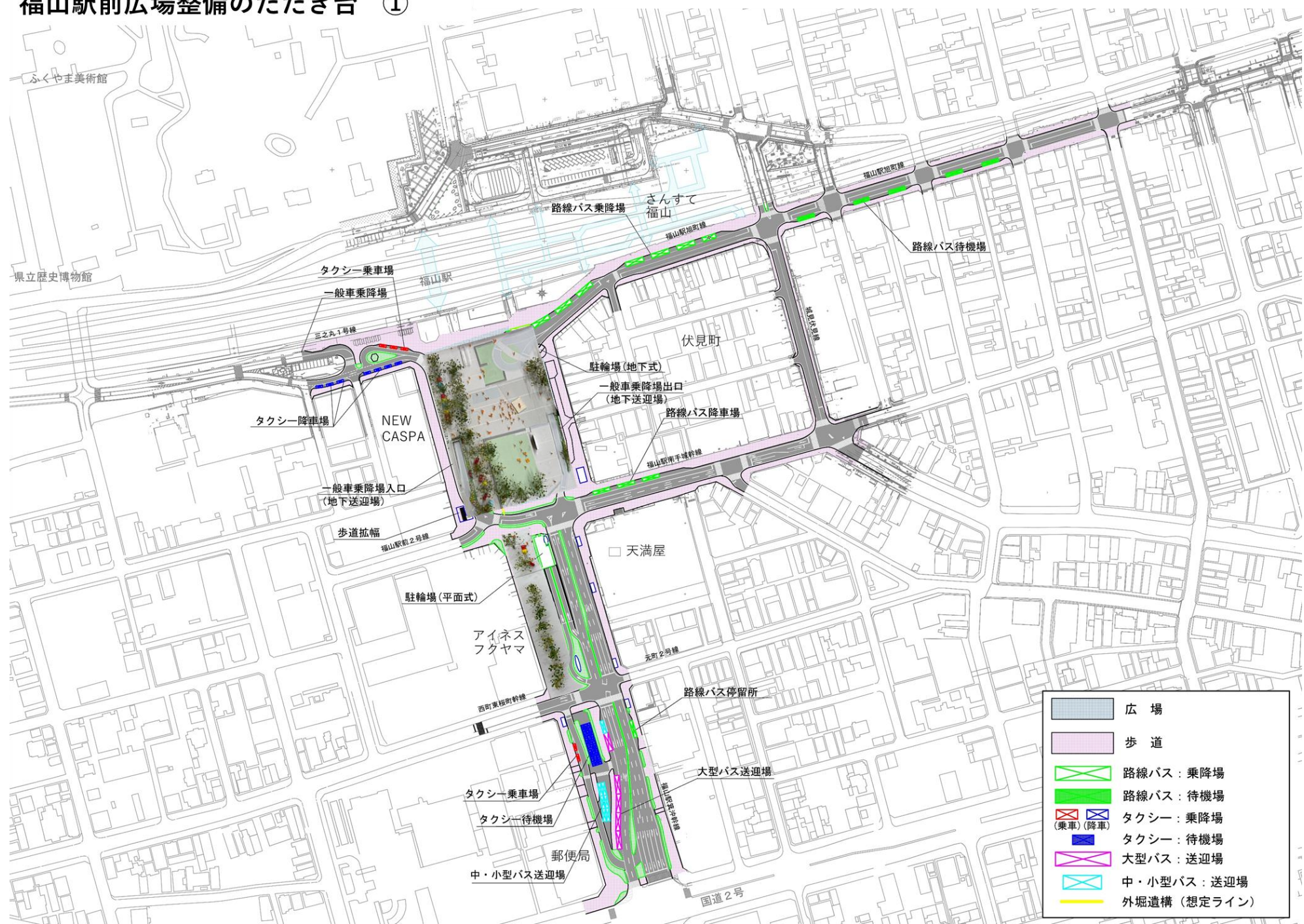
（2つのたたき台）

1. 路線バス乗降場を伏見町北側とさんすて福山の間に配置し、駅前広場をほぼ全面的に広場化する案
2. 駅前広場の南側に路線バス乗降場を縮小して配置する案

（主な意見）

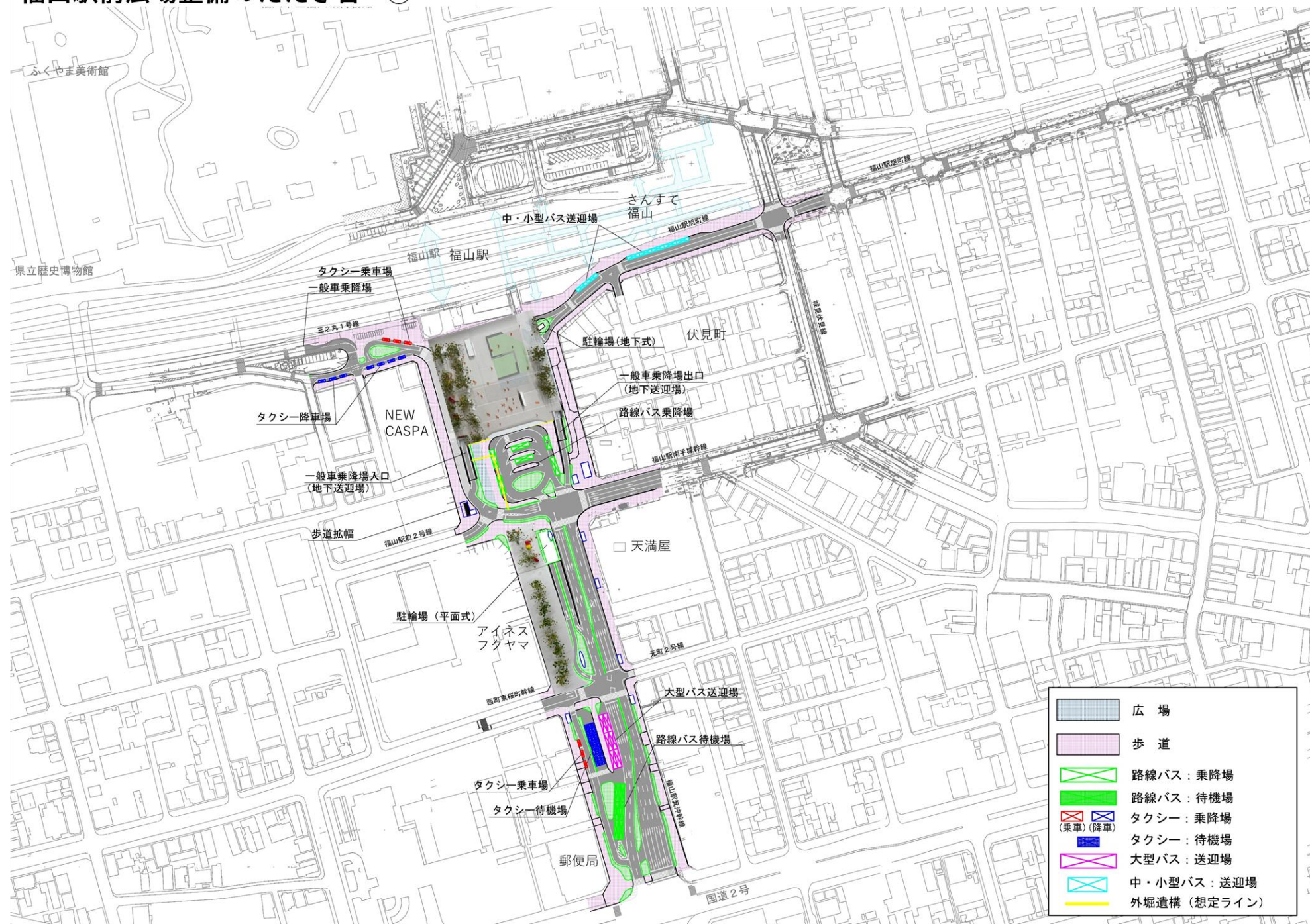
- 路線バスの乗降場は駅の近くに配置するほうが良い
- 路線バスの乗降場は運行面から、広場の南側でコンパクトに配置するほうが良い
- 広場だけでなく周辺エリアのあり方も併せて考えてもらいたい
- 広場の活用や運営に向けた議論が必要

福山駅前広場整備のたたき台 ①



	広 場
	歩 道
	路線バス：乗降場
	路線バス：待機場
	タクシー：乗降場
	(乗車)(降車)
	タクシー：待機場
	大型バス：送迎場
	中・小型バス：送迎場
	外堀遺構(想定ライン)

福山駅前広場整備のたたき台 ②



	広 場
	歩 道
	路線バス：乗降場
	路線バス：待機場
	タクシー：乗降場
	タクシー：待機場
	大型バス：送迎場
	中・小型バス：送迎場
	外掘遺構 (想定ライン)

広場の規模

約7,500m² (駅前広場)
約1,300m² (アイネスフクヤマ前)

約5,600m² (駅前広場)
約1,300m² (アイネスフクヤマ前)

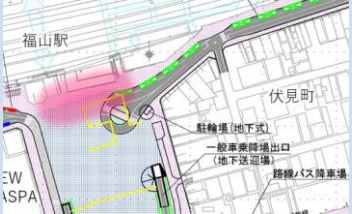

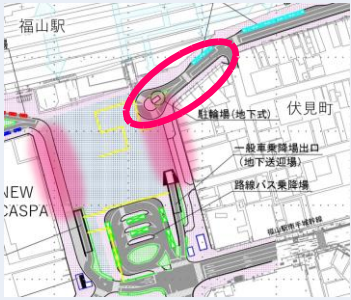


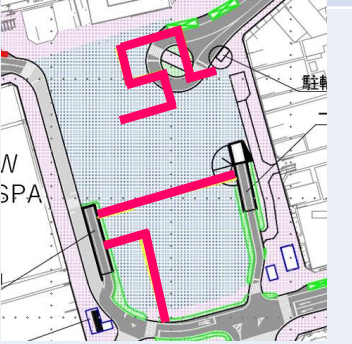
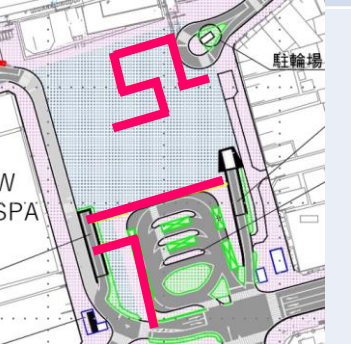
(参考)



福山駅南口駅前広場



福山市中央公園

項目	たたき台①	たたき台②
駅舎とのつながり	<p>路線バスの転回場が大きく張り出している</p> 	<p>中小型送迎バスの転回場が張り出している</p> 
東西の動線	<p>伏見町エリアとのつながり 路線バスの転回場が大きく張り出している</p> <p>三之丸町エリアとのつながり 広場とエリアとの間に道路が通る</p> 	<p>伏見町エリアとのつながり 中小型送迎バスの転回場が張り出している</p> <p>三之丸町エリアとのつながり 同左</p> 
南北の動線	<p>南北の行き来がしやすい</p> 	<p>南北の行き来の動線が狭い</p> 
遺構の表現	<p>舟入遺構や二重櫓の表現ができない</p> <p>外堀遺構（外側）の表現ができる</p> 	<p>舟入遺構や二重櫓の表現ができる</p> <p>外堀遺構（外側）の表現ができない</p> 

今後について

●基本計画策定後のスケジュール（想定）

2 0 2 5 年度（令和 7 年度）	福山駅前広場整備基本計画案の作成
2 0 2 6 年度（令和 8 年度） （	周辺道路設計、道路工事 広場設計、広場工事
2 0 3 2 年度（令和 1 4 年度）	運営事業者の選定
2 0 3 3 年度（令和 1 5 年度）	供用開始

みなさまに議論いただきたいこと

本日も議論いただきたいこと

第1回

●駅周辺が良くなる駅前広場・駅前大通りとは？

意見交換 1：『たたき台（2つの案）への意見出し』

2つのたたき台の違いを踏まえ、「福山らしさ」「使いやすさ・過ごしやすさ」「周辺とのつながり」などの視点で意見をいただく。

意見交換 2：『駅周辺と一体的につながる駅前広場・駅前大通りの使い方』

- ①日常的に広場がどのように（誰が、どんなふうに）使われると良いか
- ②駅周辺を魅力的にしていくために、広場を活用して取り組んでみたいこと、アイデア（日常／非日常）

第2回（予定）

●周辺が連携して広場を活用する具体的なアイデアは？

👉 第1回の振り返り

👉 駅前広場を活用していくために必要な施設・デザインは？

👉 広場をハブとして、駅周辺全体を回遊させるアイデアは？